

近藤忍後援会 2023 年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



後援会の皆様のご支援を受け近藤忍は昨年 4 月の市議会議員選挙で 5 期目の当選を果たしました。本来であれば御礼も兼ねて年始早々に活動報告を行うべきところでありましたが、忍の父である近藤富男が病氣療養を経て本年 3 月 11 日に還らぬ人となりました。近藤忍の強い希望により四十九日法要を終えてからの発行と致しましたので今回は例年に比べて発行の時期が遅くなりましたことをご容赦いただきたく存じます。

2024 年 5 月 後援会長 江野澤政広

1. 定例議会における活動報告

昨年中は 3 回の一般質問を行いましたので概要を報告いたします。改選前となる 3 月定例議会で予算審査特別委員会に選出されたため一般質問はしておりません。3 日間の予算審査では議事録から検索すると 211 回に亘る質問及び意見を述べておりました。内容の詳細は木更津市のホームページに記載されております。

6 月定例議会：「交通政策などについて」

改選最初の議会で「防災対策」「交通政策」「吾妻公園」の 3 項目について質問しました。「交通政策」ではアクアライン渋滞対策として NEXCO 東日本と千葉県が 7 月より始める社会実験の課題、運転手不足の課題の中で輸送力を確保するための接続バス運行、羽田空港で J R 東日本が建設する鉄道新駅と既存高速バス路線が接続しやすくなる設計協議を提案、巖根駅の総武線快速停車や久留里線存続検討会議の状況を確認しました。多くの課題が明らかになったので今後も交通政策特別委員会で注視していきます。



千葉市内で運行されている接続バス

9 月定例議会：「産業の活性化・土地の利活用について」

かずさアカデミアパークの企業用地がほぼ完売し、近年は木更津市に立地を希望する企業へ適切な産業用地を紹介できない状況です。2018 年 12 月議会において本件の問題提起を行った結果、民間事業者による用地供給を促進する制度が始まりましたので、その現状と課題を確認しました。

また、用途を廃止しながら建物の撤去がされていない 7 箇所市の市有土地の活用や土地開発公社の課題について指摘しました。土地を市が保有している状況では維持管理費の支出が生じますが、民間に売却することで税収が期待でき土地の活用に伴い人口の増加や地域の活性化が期待されますので売却を進めることを提案しています。

令和 6 年度予算では市営住宅跡地など 3 箇所の売却で 3 億 1 千 5 百万円の収入が計上されたように提案の成果がありました。入札により予算額以上の収入が見込まれ市民福祉の向上につながると期待します。

12 月定例議会：「江川運動場などについて」

債権管理一元化の課題と江川運動場拡張事業終了に伴う全体の総括を行いました。今回の拡張事業は防衛省が直接実施した工事と市が補助金などを受けて実施した工事に進められ設計などの費用を含めた総額は 27 億 2 千万円となりました。市が発注した工事は金額の 64.8%になりますが防衛省の補助金を除くと市の負担は 21.9%に過ぎず、市にとっては安価に建設できました。

しかしながら今後の維持管理費の負担や施設の改良箇所などの課題も多く今回で完了とするのではなく引き続き対応を進めることを要望しました。



江川野球場にて(令和 5 年 3 月 27 日撮影)

※ 議会質問の全文は近藤忍の HP [<http://sinobu.com/situmon/sindex.html>] と
木更津市議会の HP [<http://www.city.kisarazu.chiba.dbsr.jp/index.php/>] で読むことができます。
またインターネット配信 [<http://www.kisarazu-city.stream.jfit.co.jp/>] では動画を見ることが可能です。

2. 委員会や議会内における活動報告

4月の改選で木更津市議会に7人の新人議員が当選しました。私が代表を務める**会派羅針盤**では3人の新人議員が加わり議会で最大勢力となる7人の会派となり、私の責任は今まで以上に重くなりました。その会派で7月26日から行政視察に出かけ五島市のベトナム人に向けた日本語学校の運営、防衛省九州防衛局の佐賀駐屯地建設状況を視察しました。木更津でのオスプレイ暫定配備期間を順守できる状況かを確認しながらも、木更津市から議会の視察が来たということで現地の報道陣から取材を受け、基地対策特別委員長や議長の経験を活かした的確に意見を述べました。



インタビューに答える画像(令和5年7月27日放送)

鶴岡議長を輩出する会派代表として私が**議会運営委員会**の委員長を務め、同じ会派である草刈議員を議会改革特別委員会委員長に据え、3人で協力し議会改革を進めた結果、予算決算の委員数や審査日数の増加など議会の審査機能を高めました。また、改選後も**総務常任委員会**に所属し飛行場周辺まちづくり構想などを審査しました。特別委員会では**交通政策特別委員会**に属し視察にも行きました。議員全員が所属する**市庁舎整備特別委員会**では駅前庁舎を賃借から自前方式に方針変更されることによる財政計画などの諸課題を指摘しました。

かずさ水道広域連合企業団議会では5年後の料金統一に伴う諸課題を、**都市計画審議会**では市街化調整区域の開発行為に伴う諸課題を、それぞれ解決する責務があると考え行動しています。また、議員有志による勉強会の**中野畑沢線促進研究会**では道路設計の技術を活かし街中の未整備区間の進展に向け議論を行いました。個人的に参加している**災害支援ボランティア議員連盟**では10月25日から福島県の被災地で研修会を行い、放射性物質の中間処理や廃炉作業の状況などを勉強してきました。

3. 2024年に予定されている主要な変化や課題

1. 都市の主要な変化

- ・木更津駅西口の富士見通りでは電線の地中化やアーケードの撤去工事が進みます。
- ・朝日庁舎周辺では庁舎建設に向けて地質調査などが行われ設計も進みます。
- ・巖根駅では東口改札の設置工事が行われバリアフリー化が完了します。
- ・中郷と清川地区の国道409号線沿線に企業進出の計画が示されると思われます。

2. 公共施設に関する事案

- ・吾妻公園に市民会館・中央公民館・図書館を集約した文化芸術施設を配置する基本設計が行われます。
- ・江川公園北側の国有地で防災機能も兼ねた築山の検討が進みます。
- ・駅前庁舎の新庁舎建設に向けて設計が始まり令和10年度当初からの入居を前提とした事業が進みます。
- ・公設卸売市場の旧潮見市役所跡地への移転についての議論が進みます。
- ・中野畑沢線の中野工区と桜井工区及びきみさらづ聖苑周辺道路の工事が進みます。
- ・富津市新富では木更津市を含む6市1町が使用する広域ゴミ処理場の工事が進みます。

3. その他の諸課題

令和6年は能登半島地震で始まり房総半島沖でも群発地震が発生し、今後も海溝型の大規模地震や大型台風による風水害など自然災害の危機対策が重要になります。日本国の人口減少問題は遠からず木更津市に影響を与えますので人口政策や産業政策も今のうちに取り組むべき課題です。老朽化したインフラの課題や子育て支援及び高齢者支援など市議会に求められる課題は数限りなく続きますので研鑽を積んでまいります。

4. 後援会の案内と入会のお誘い

近藤忍の議員活動を励ますため、後援会活動を強化したいと考えております。近隣や知人の方で近藤忍後援会への入会を希望される方は、氏名、住所、電話番号などをお知らせ下さい。ご連絡は後援会事務所を訪問いただくか、郵送・電話・FAX・メールなどにてお願いします。

